

新庁舎の什器類に関する基礎検討を開始

新庁舎の建物に関し、再来年度の調達に向け、建物内で利用する什器類(書棚、テーブル等)の基礎的な検討を開始しました。

検討の初期段階では、建物設計図を基に、設計事業者および複数の事務機器メーカー等の提案を受けながら、新庁舎に必要な什器類の絞り込みと、設置形態の検討を行っていきます。

その中では、新庁舎に必要な物であるかに加え、必要な物についても、現庁舎にある物の転用や再利用等の可否を精査します。転用等する場合の引越費用等も含め、なるべく費用の低減化を図ることができるよう、慎重に検討を進めます。

今年度から来年度は、現庁舎で利用している什器類のサイズを測り、破損や故障等の不具合がないかを確認していきます。その結果を、新庁舎での利用を想定する什器類と比較し、大規模な地震時やセキュリティ面に不都合がないか等も含め、代用が可能か判定していきます。

なお、庁舎建物本体については、現在詳細設計を行っており、これから年度末にかけて、建築確認に必要な詳細図面が順を追って完成する見込みです。

什器の具体例

窓口待合ベンチ、記載台、相談室・会議室等机・イス、パンフレット棚、キッズスペースクッション、移動衝立、応接セット、議場セット、ホワイトボード、書棚、ロッカー、事務机・イス 等

新庁舎コラム 新庁舎の6つの理念⑤ 「理念4 / 桑折町らしい庁舎」：①全般

～基本計画・基本設計の6つの理念に沿って、新庁舎建築設計の詳細をご紹介します～

町の歴史や文化、自然等の特色を活かしつつ、機能的なシンプルさも重視した庁舎を目指します。

1	外観	旧桑折宿の町屋の玄関や旧伊達郡役所のイメージを意識しつつ、メンテナンスに費用のかかる木材は利用せずに、町並みと調和するものとする
2	内装	議場や応接室等に温かみのある木材などを利用した腰壁等を設置するほか、玄関ホール等に木調アルミルーバーなどを利用する
3	南テラス	西根堰や阿武隈川の緩やかな流れ、桑折高架橋や新幹線の水平ラインをイメージしたデザインとするほか、宿場町の暖簾(のれん)等を意識した告知用垂れ幕を掲出可能とする
4	シンボル	正面玄関に町章を表示するほか、庁舎外壁には昨年度作成した桑折町のシティプロモーション用ロゴ(本紙タイトル右端)を掲出する
5	展望	議場西側の窓を大きめに構え、半田山や西山城跡への展望を確保する
6	旧街道との連携	普段やイベント時駐車場としての新庁舎を基点に、桑折駅や奥州・羽州街道追分から商店街や旧伊達郡役所への徒歩での回遊を可能とする